(7) Outline of Total Evaluation : The successful bid depends on total evaluations of the price, the performance and the function, etc. The introduction manual shows the outline of the total evaluation.
(8) Time-limit for the submission of the requested material : 5 : 00 PM, 14 November, 2011.
(9) Contact point for the notice : Naho Takatsu, Accounting Section, General Affairs Division, Incorporated Administrative Agency, National Institute for Environmental Studies, 16―2 Onogawa Tsukuba-shi Ibaraki-ken 305―8506 Japan. TEL 029―850―2321

## 資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成23年9月21日
経理責任者
国立大学法人九州大学事務局長　本木　章喜
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　40
**○第２号**
1　調達内容
(1) 品目分類番号　22、31
(2) 導入計画物品及び数量　サイクロトロンシステム　一式
(3) 調達方法　購入等
(4) 導入予定時期　平成25年度４月以降
(5) 調達に必要とされる基本的な要求要件
A　サイクロトロンは陽電子(ポジトロン)放出核種を製造するために陰荷電粒子を用いる負イオン型のサイクロトロンであること。
B　標識化合物合成装置はF18、C11、N13、O15など複数のポジトロン核種を用いた標識化合物の合成ができること。合成装置は取り扱いが容易で、かつ高収率・短時間に安定して合成ができ、低ランニングコストであること。
C　合成装置はホットセルに格納され、作業者の被爆を防護できること。
D　標識化合物の純度等の安全性の確認ができること。
E　ポジトロン断層撮像装置はポジトロンの分布を解剖学的位置情報と重ね合わせて表示する機能を持つこと。
F　必要とする放射能測定装置および関連する品質管理機器や周辺機器等を備えること。
G　すべての装置の維持について適切な保守体制と迅速なユーザー支援体制を有すること。
2　資料及びコメントの提供方法　上記１(2)の物品に関する一般的な参考資料及び同(5)の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
(1) 資料等の提供期限　平成23年11月10日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
(2) 提供先　〒812―8581 福岡市東区箱崎六丁目10番１号　国立大学法人九州大学財務部調達課調達総括係　藤　　伸安　電話092―642―2188
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
(1) 交付期間　平成23年９月21日から平成23年11月10日まで。
(2) 交付場所　上記２(2)に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
(1) 開催日時　平成23年10月３日15時00分
(2) 開催場所　九州大学病院外来診療棟５階カンファレンスルーム
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
(1) Classification of the products to be procured : 22, 31
(2) Nature and quantity of the products to be purchased : Cyclotron System 1 Set
(3) Type of the procurement : Purchase
(4) Basic requirements of the procurement :
A　Cyclotron is the type of negative ion acceleration using negative charged ion for generating positron emitter
B　Synthesis system must allow for synthesis of radio-labeled compound with various positron emitters such as F-18, C-11, N-13, O-15. Synthesis system for radiopharmaceuticals must be easy to handle and offer reliability, the highest yield and the lowest labor time and cost per run.
C　All the synthesis system can be stored in hot cells to protect the operator from the radiation burden.
D　Must allow for quality control of the synthesized materials for purity and safety.
E　Positron CT must have a capability of displaying the fusion image of positron distribution and morphological information.
F　Must be provided equipment and device which are necessary for quality control of radio-tracer, measurement of radioactivity and radiation protection etc.
G　Systems that help users quickly and with proper maintenance of all equipment.
(5) Time limit for the submission of the requested material : 5 : 00 PM 10, November, 2011
(6) Contact point for the notice : TO Nobuyasu, General Procurement Section, Procurement Division, Kyushu University, 6―10―1 Hakozaki Higashi-ku Fukuoka-shi 812―8581 Japan, TEL 092―642―2188

## 資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成23年９月21日
大学共同利用機関法人
自然科学研究機構長　佐藤　勝彦
◎調達機関番号　416　◎所在地番号　13
**○第２号―天文台**
1　調達内容
(1) 品目分類番号　14
(2) 導入計画物品及び数量　国立天文台　データ解析・アーカイブ・公開システム　一式
(3) 調達方法　借入
(4) 導入目的　本システムは国立天文台に設置され、宇宙の諸現象の解明に資すると同時に、大量の観測データを生み出す時代に向かっていることを踏まえつつ、国立天文台が運用する大規模望遠鏡システムが生み出す波長横断的観測データの解析、データベース化および公開のために導入する。
(5) 導入予定時期　平成24年度３月以降
(6) 調達に必要とされる基本的な要求要件
国立天文台　データ解析・アーカイブ・公開システムは、「大規模データ解析サブシステム」、「大規模データアーカイブ・公開サブシステム」、「ヴァーチャル天文台サブシステム」、「ＲＩＳＥデータ解析サブシステム」の各サブシステムにより構成される。これらのサブシステムは、それぞれ、下記に示す機能を持つこと。また、本システムで利用するストレージシステムについては、将来における未確定なデータ量の増加に対応できるものとし、かつ、効率化をはかること。設置場所については、特段の記述がない場合、国立天文台・三鷹地区とする。
(A) 大規模データ解析サブシステムは、本台が運用する下記の望遠鏡および観測機器により取得される観測データを迅速に処理すること。
(ア) ハワイ観測所が運用するすばる望遠鏡に備え付けられた観測機器
(イ) 合同ＡＬＭＡ観測所（ＪＡＯ：Joint ALMA Observatory）が運用するＡＬＭＡ望遠鏡
(ウ) 水沢ＶＬＢＩ観測所が運用する天文広域精測望遠鏡（ＶＥＲＡ）
(エ) 野辺山宇宙電波観測所が運用する45m大型電波望遠鏡並びにＡＳＴＥ望遠鏡（Atacama Submillimeter Telescope Experiment）
(オ) ひので科学プロジェクトが宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）と共同で科学運用を行っている太陽観測衛星「ひので」
(カ) 野辺山太陽電波観測所が運用する太陽電波観測装置（野辺山ヘリオグラフ並びに野辺山強度偏波計）
なお、(ア)については、現在運用中のシステムを引き継いだものであり、ハワイ観測所で別途調達される「山頂観測制御計算機システム」および「すばるデータアーカイブシステム」(いずれも仮称）と密接に連携しつつ、すばる望遠鏡による共同利用を遂行するシステムであり、国立天文台・三鷹からの観測準備および遠隔モニター観測を実施するための機能も有する。また、ハワイから送られてくる観測データを(ア)のシステムと三鷹に別途設置される遠隔観測システムに配信する機能を有する。